

## 上三川町テイクアウト導入支援助成金の交付について

### 飲食店のチャレンジを支援します！

- ▶ 支援の目的＝新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況が続いている町内飲食店に対し、テイクアウトの実施に係る費用の一部を助成
- ▶ 対象者及び申請要件＝
  - ①令和2年1月1日以降テイクアウトを開始した又は開始予定の飲食店等
  - ②令和元年12月以前からテイクアウトを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年1月から7月までの任意の月の売上高が前年同月比30%以上減少している飲食店等
- ▶ 助成額＝補助対象経費の2分の1以内の額(千円未満は切捨て)で、5万円を上限とします。
- ▶ 申請期間＝6月15日(月)から10月30日(金)まで(商工会会員でなくても、申請できます。)
  - ※申請書類につきましては、町HPよりダウンロードできます。
- ▶ 問い合わせ先＝制度に関すること 商工課 商工振興係 ☎56 9 1 5 0  
申請手続きに関する相談窓口 上三川町商工会 ☎56 2 2 0 6

## 上三川町新型コロナウイルス感染拡大防止対策取組宣言

- ▶ 目的＝新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に積極的に取り組んでいる町内事業所に対して、感染拡大防止宣言事業所の登録をさせていただいた際に、感染防止対策をアピールするためのポスターを配布することにより、町内事業所が一丸となって感染防止対策を推進していく取組
- ▶ 対象者＝町内事業者
- ▶ 申請期間＝商工会において申請受付中(商工会会員でなくても、申請できます。)
  - ※申請書類につきましては、商工会窓口又はHPよりダウンロードできます。
- ▶ 問い合わせ先＝上三川町商工会 ☎56 2 2 0 6

## 上三川町新型コロナウイルス感染拡大防止対策助成金の交付について

- ▶ 支援の目的＝町内に事業所を有し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行う事業者に対し、その対策に係る費用の一部を助成
- ▶ 対象者及び申請要件＝新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策取組宣言事業所の登録を行っている事業所で、令和2年1月から8月までの任意の月の売上高が前年同月比30%以上減少している法人又は個人事業主
- ▶ 助成額＝補助対象経費の2分の1以内の額(千円未満は切捨て)で、10万円を上限とする
- ▶ 申請期間＝7月13日(月)から10月30日(金)まで(商工会会員でなくても、申請できます。)
  - ※申請書類につきましては、町HPよりダウンロードできます。
- ▶ 問い合わせ先＝制度に関すること 商工課 商工振興係 ☎56 9 1 5 0  
申請手続きに関する相談窓口 上三川町商工会 ☎56 2 2 0 6

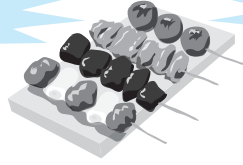
# 8月は「食品衛生月間」です カンピロバクターによる食中毒が近年増えています！



原因は生や加熱不足のトリ肉料理

新鮮な肉でも安全とは言えない

少量の菌量でも感染して発症



## 【予防のポイント】

よく加熱して食べる

・カンピロバクターは熱に弱いので、肉の中心が白くなるまで十分な加熱をする。

増やさない

・低温で保存する。

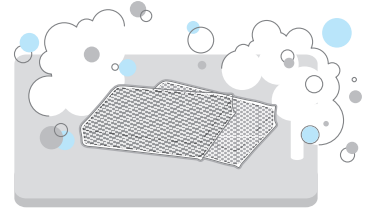
・室温で放置しない。解凍は冷蔵庫や電子レンジで。

二次汚染を防ぐ

・生のトリ肉や卵が他の食材と接触しないようにする。

・取り扱い後は手指や調理器具をよく洗ってから他の食材に触れる。

・生肉を扱った包丁やまな板は、洗剤でよく洗ってから熱湯をかけて使う。



包丁やまな板は、肉・魚用、野菜用と別々に使い分けるとさらに安全です。

▶問い合わせ先＝健康福祉課 成人健康係 ☎669133

## かみのかわ平成史 第7回 平成7年(1995)

今回は平成7年の出来事がテーマです。この年、国内では1月に阪神・淡路大震災が発生し、3月には地下鉄サリン事件が起こりました。年末にはWindows 95が発売され、コンピュータが一気に私たちの身近な存在となりました。

この年に誕生40年を迎えた町の出来事に目を向けてみましょう。1月に行われた白鷺杯硬式卓球大会に当時6歳だった福原愛さんが特別参加し、小学3年生以下の部で3位入賞を果たしました。4月、大山にある浄光寺の薬師如来像が戦後初めて御開帳され、稚児行列と護摩による供養が行われました。5月には猪瀬成男氏が新たに町長に就任しました。

さて、10月に上郷1区にある道城子供会にて行われた「ボウジボ」と呼ばれる伝統行事をご紹介します。「ボウジボ」は、十三夜や十五夜の夜に藁鉄砲を持った子ども達が地面を叩いて来年の豊作を願う伝統行事です。地面を叩く行為は、害虫を追い出す所作を表しています。子ども達は家々でお小遣やお菓子をもらえるので喜んで参加していました。子ども達は家々でお小遣です。日本版ハロウィンといったところでしょうか。毎年恒例の行事として町内各所で行われていた「ボウジボ」ですが、子どもの減少などもあってか残念ながら年々行われなくなりつつあります。少し前には当たり前であったものが、あっという間に忘れ去られようとしている現代社会。昔のことを子ども達に伝えていくのも大切なことですね。

▼問い合わせ先＝生涯学習課 生涯学習係

☎669159



ボウジボの様子